

令和8年産 おいしい“しろいし特別栽培米”栽培しおり（七タこしひかり）

J A さ が 白 石 地 区
武雄 杵島地区農業指導連絡協議会

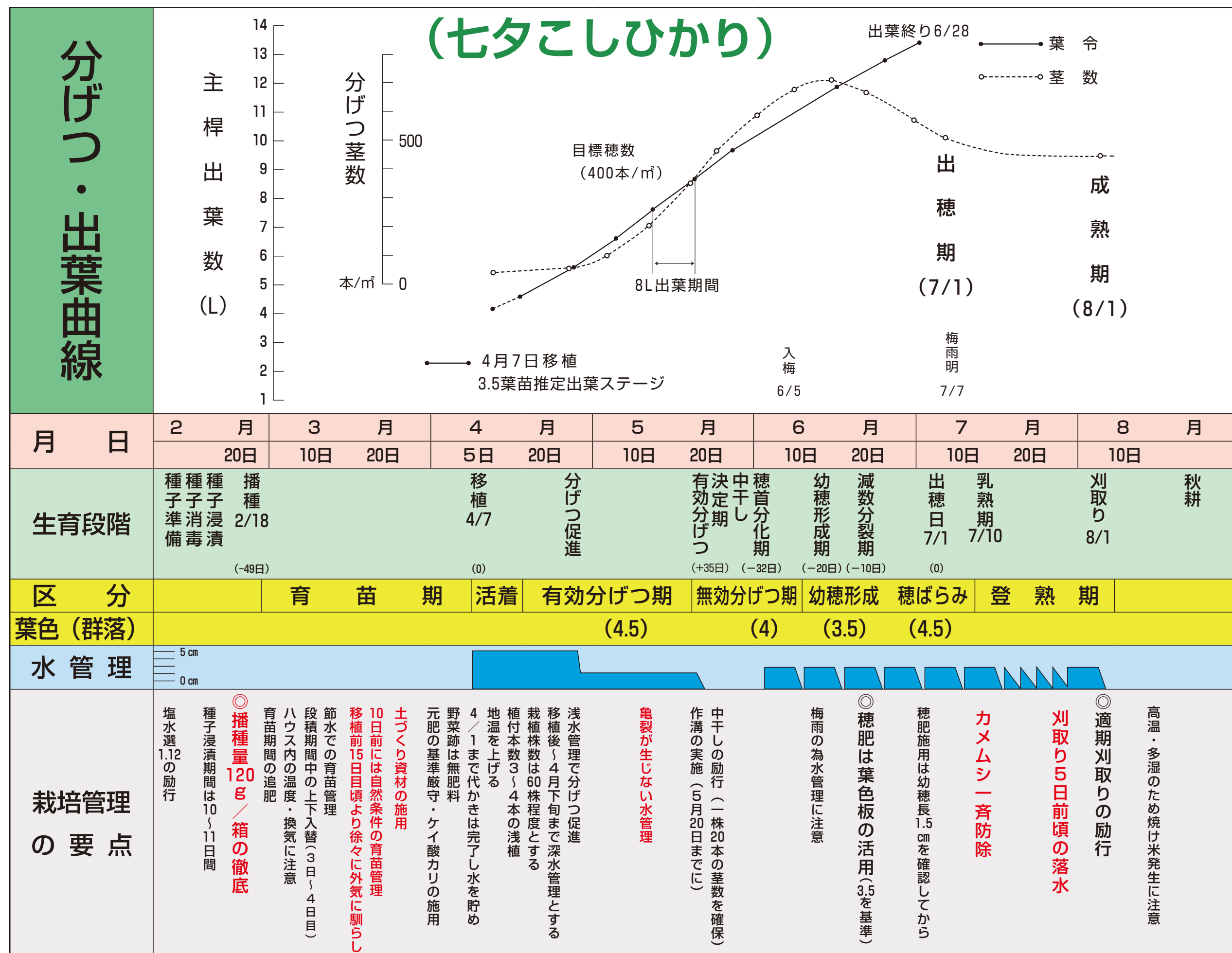
収量目標 = m²当り穂数 × 1 穂粒数 × 登熟歩合 × 玄米千粒量
500kg 400本 75粒 80% 21.0g

栽培上のポイント

- ① 土づくり資材の投入により、地力向上と生産アップに努める。
- ② 健苗移植による早期活着、分けつ茎の早期確保に努める。
- ③ 栽植密度60株／坪移植および適切な水管理による茎数確保と倒伏防止に努める。**（普通期水稻より播種量が少ないので疎植はしない。）**
- ④ 有機物の施用により、ブランド米“七タこしひかり”の生産に努める。
- ⑤ 減農薬、減化学肥料栽培による“七タこしひかり”生産の確立に努める。

限りある水資源を大切に
収穫後の稲ワラは全量打ち込みましょう

作業の目安	区 分	塩 水 選	種 子 消 毒	浸 種 期 間	播 種 日	育苗期間	移 植 日
	七タこしひかり	2月5日	2月5日～2月6日	2月7日～2月17日	2月18日	49日	4月7日



◎土づくり資材

肥 料 名		一般田	野菜跡	大豆跡
堆 肥	いずれか施用	1 t		
		40kg		
ア ツ ミ ン				
ミ ネ ラ ル G	いずれか施用	100kg	100kg	100kg
ケ イ 鉄		200kg	200kg	200kg
グ ア ノ G	施用	20kg	20kg	20kg

◎野菜跡地のガス抑制資材

資材名	使用量(10a)	使 用 方 法
ガスヌキドン	3 ～ 4 kg	代かき前またはガス発生時に散布し、散布後は 3 ～ 4 日溜めておく。
菌 カ ア ッ プ	10 ～ 20 ㍓	代かきを仕上げて、水を入水する時に水口から流しこむ。但し、圃場の 1/3 程度水が入ってから流しこむ。

(野菜跡の残さ等は早めに鋤込みを行いガス発生抑制に努める。)

(施肥基準)

区 分	元 肥	穂 肥
肥 料 名	ケイ酸カリ 又は、シリカサポート	ゴールド有機 50
一 般 田	60kg	20kg
野 菜 跡	60kg	無肥料
大 豆 跡	60kg	10kg

※ 側条施肥の場合は、元肥70%程度とする。

〔備 考〕① たい肥又はアツミンは2月末までに施用。

② ケイ酸カリ（又は、シリカサポート）を元肥に施用していない圃場は登熟向上、倒伏抑制の為 6 月 1 日頃に必ず施用する。

③ 穂肥は葉色板3.5を基準とし、幼穂長1.5cmを確認してから施用する。

(除草剤)

除 草 剤 名	使用量(10a)	使用時期
ガツントZ1kg粒剤（2成分）	1 kg	移植直後～ノビエ3.5葉期 （田植同時処理対応可）
シンゲキ1kg粒剤（2成分）	1kg	移植直後～ノビエ2.5葉期 （田植同時処理対応可）

〔備 考〕① 極端な浅植及び田面の露出での補植は生育を抑制することがあるので注意する。

(本田防除)

防 除 時 期	薬 剤 名	使用量(10a)	対象病虫害
7月期（乳熟期）	スタークル 紛DL	3kg	カ メ ム シ 類

健苗育苗の目標

区 分	1 箱当り播種量 (浸漬粉)	草 丈	葉 齢	育苗日数	10a当り箱数
七タこしひかり	120 g	13cm以内	3.5枚以上	49日	23～25箱

栽培履歴記帳の徹底
豊かな実りは土づくりから
佐賀県特別栽培表示制度に応じた栽培管理の徹底